

未来への森づくりタウンミーティング 開催結果（報告）

令和7年9月

静岡県経済産業部

森林・林業局森林計画課

1 開催概要

令和7年度で森の力再生事業の第2期計画（H28～R7）の事業期間及び森林（もり）づくり県民税の課税期間が終了することから、タウンミーティングを通じて、県民に対して事業の成果や森林の実態等を説明するとともに、新たに確認された荒廃森林について意見を伺った。

区 分	内 容
期 間	令和7年5月13日(火)～7月3日(木)
会 場	県内34箇所（21市町）
実 施 主 体	森林計画課、税務課、各農林事務所、各財務事務所の共催
参 加 人 数	1,020人
実 施 内 容	○説明事項 ・森の力再生事業の成果 ・森林（もり）づくり県民税と森林環境譲与税 ・森林の現況調査の結果 ○意見交換 ・森の力再生事業の評価 ・新たに確認された荒廃森林の対応 ○アンケート調査（873人回答、回収率85.6%）

2 県民意見等の概要

（1）主な発言内容

項目	内容
現 事 業 の 評 価	所有者自身では整備ができずに荒廃した森林が本事業によって整備され、効果を実感している、所有者からも喜ばれているなどの意見が多数あった。 一方で、事業を知らない方も多いため広報にもっと注力すべき、森林環境譲与税との違いを分かりやすく説明すべきとの意見も多数あった。 （発言抜粋） ・荒廃森林が整備され、下草が回復するなどの事業効果を実感している。 ・事業の実施により、森林の所有者や境界が明確になった。 ・事業成果や森林環境譲与税との違いを分かりやすく広報すべき。

新たに確認された 荒廃森林 の対応	全ての会場において、荒廃森林が依然として確認されていることから、事業継続を望む意見や、継続した場合の事業内容に対する要望が多く寄せられた。 一部の会場において、森林環境税の徴収が開始されたことなどの理由から、事業の継続に対して反対の意見が挙がった。 (発言抜粋) ・ 林業が成立しない森林を、所有者自らが整備することは難しい。 ・ 未整備の人工林や竹林があるので、事業を継続してほしい。 ・ 森林の荒廃が進むと、河川の災害につながらないか心配。
----------------------------------	---

(2) 会場アンケート結果 (873 人回答、回収率 85.6%)

設問	回答
森林の荒廃についての意識	「問題だと思う」…91.8% 「どちらかという問題だと思う」…6.9% 「問題とは思わない」「その他」…1.3%
現事業の評価	「大いに評価できる」、「評価できる」…90.6% 「どちらともいえない」…5.2% 「あまり評価できない」「評価できない」「その他」…4.2%
税負担への理解度	「理解できる」…81.1% 「理解できるが、負担感はある」…14.6% 「負担を求めるべきではない」「その他」…4.3%
事業の継続	「引き続き県が取り組むべき」…86.6% 「森林所有者が取り組むべき」…6.8% 「取り組む必要はない」「その他」…6.6%



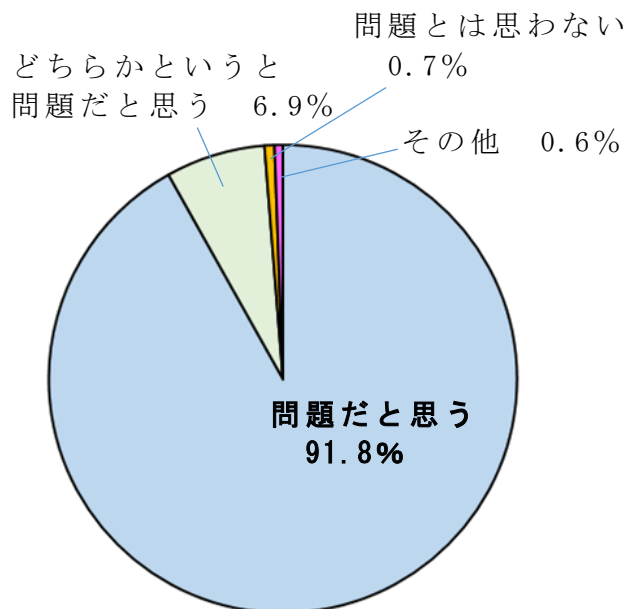
5/14 静岡市駿河区会場



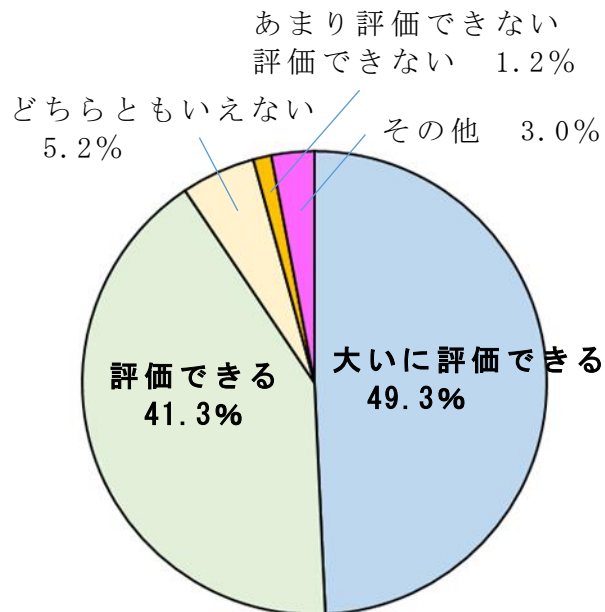
6/24 天竜高校

未来への森づくりタウンミーティング会場アンケート（全 34 会場分）

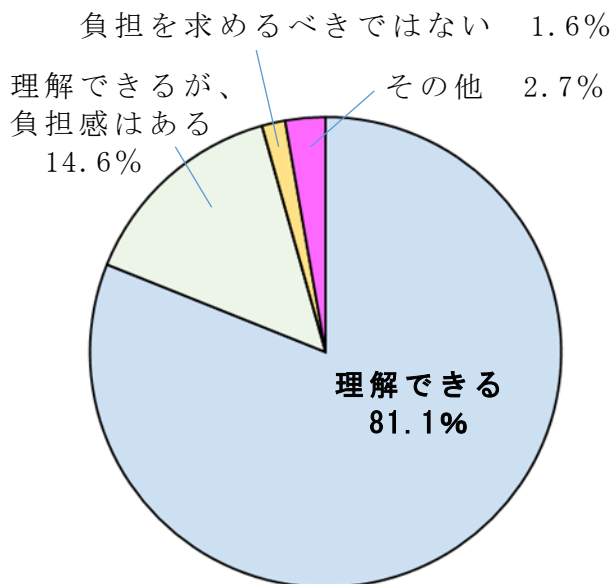
Q1 森林の荒廃についての意識



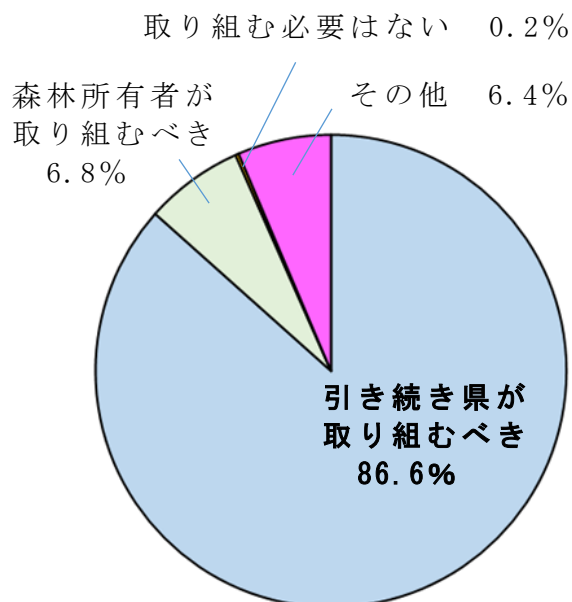
Q2 現事業の評価



Q3 税負担への理解度



Q4 事業の継続



【各会場における主な意見】

会場名 (市町名)	参加 人数	内 容
下田総合庁舎 (下田市)	39	・山主からも「やってよかった」との声を良く聞くし、大事な事業だと思う。 ・竹林や広葉樹林整備の必要性や需要は高い一方で、予算配分が少ない。計画の見直しや、市町の森林環境譲与税の使途に関する指導を求める。
松崎町環境改善センター (松崎町)	35	・この地域は広葉樹薪炭林や元人工林も多く、食害等によって荒廃した広葉樹林がまだまだある。 ・PR 不足が大きい。自分が住む市町で、どこを整備したかがわかるような広報を行ってほしい。 ・大きくなった広葉樹等が河川に流出することがあるので、河川沿いの立木の整備も検討してほしい。
東部総合庁舎 (沼津市)	48	・依然として森林の荒廃が進んでいることは事実。近年、大雨後などに川の濁りが確認されている。 ・広報に関しては、海とのコラボレーションを行っていくのが良いと思う。テレビ CM も有効ではないか。 ・保安林が対象外のため、保安林だけ取り残されている印象がある。対象森林の枠を広げてほしい。 ・継続に反対。林業関係者から今の基準では適用森林が少なすぎて、県民から毎年 400 円をもらうほどの事業量は確保できないと聞いた。
御殿場市民会館 (御殿場市)	30	・採算が合わずに整備が行き届かない森林を整備できる大変貴重な事業なので、継続を希望する。 ・事業を実施したが下草が十分に回復しなかった森林については、条件付きで追加整備できるように検討してほしい。
伊東市役所 (伊東市)	37	・令和元年の台風で発生した倒木をこの事業で片付けていただき、ありがたく思っている。まだ完全に処理が終わった訳ではないので、この事業の継続を強く希望する。 ・風倒木はなかなか整備しきれない現状の中で、事業がなくなってしまうと放置せざるを得なくなるので、ぜひ事業を続けてほしい。
函南町役場 (函南町)	19	・函南町は県境に接しており、森林は県を跨ぐことから、国による一体的な整備が必要だと思う。 ・新たな荒廃森林は毎年どんどん増えていく。延長が前提で、タウンミーティングをやっているように感じる。

伊豆市役所 (伊豆市)	3 2	・伊豆市内では、組合などから独立した小規模な事業体がこの事業を活用していく中で育成されており、組合以外の担い手が増えることで森林整備が進むという良い循環が生まれている。事業の継続を望む。 ・税金を払っているが、自分の所有する森林の場所すらわからない方が増えている。代替わりすると更に興味が薄れ、森林の荒廃が進んでしまう。
富士宮市役所 (富士宮市)	2 9	・事業に対する県民の認知度が低い。一般の方でもわかるように HP 等を活用して、認知度を高めるべき。 ・荒廃して整備の緊急性が高い里山林も存在している。森林環境譲与税との棲み分けも大事であるが、そのような森林も森の力再生事業で整備することで、地域住民への広報や理解促進につながるのではないかな。
富士総合庁舎 (富士市)	3 7	・もっと目に見えるところで整備してほしい。一般の人にも分かりやすい事業にしてほしい。 ・荒廃した里山林整備の要望はよくあがるが、森林環境譲与税の使途は市町に委ねられており、地域によっては整備ができないので、実情に応じて対応していただけると有難い。 ・個人的には年間 400 円なら負担感はないし、整備のための財源確保としては良いのではないかな。
静岡総合庁舎 (静岡市駿河区)	6 6	・森林所有者からの相談を受けて山林を見ると、木材生産に適さない森林が全体の 8 割程度ある。それらを整備することができるのはこの森の力再生事業しかない。継続を希望する。 ・事業の結果、アセビなどのシカにとっての毒草だけが増えている箇所もある。植生の回復量だけでなく、中身も調査し、評価してほしい。 ・森の力再生事業の継続は反対である。森林環境税の徴収も始まり、二重課税となっているため、県民の負担を増やさないようにしてほしい。
東部生涯学習センター (静岡市葵区)	1 9	・面積要件も比較的小さく、集約化から漏れてしまった小規模所有者でも整備できる唯一の事業。 ・いつ、何を、どこまでやったのか、納税者に丁寧な説明をお願いしたい。 ・民間事業者と同じように、地元市民のニーズや時代に併せて、事業のスタイルを変えることを検討するべき。
興津生涯学習交流館 (静岡市清水区)	1 8	・県民税や森林環境税をもとに、無駄なく森林整備を進めていくうえで、森の力再生事業はバランスが良いと評価している。絶対に続けてもらいたい。 ・県民の目に分かりづらい。子供たちに伝えていくために、学校などで説明してはどうか。

藁科生涯学習センター (静岡市葵区)	2 1	・ 放置され、荒れている保安林の対応を検討してほしい。
川根文化センター (島田市)	3 0	・ 「荒廃森林の整備」のみに税を活用してきた点は分かりやすく、評価できるので、今後も維持してほしい。 ・ 所有者負担なく、地域課題の放置竹林対策ができるのは素晴らしい。 ・ 納税者から見ると、森林は所有者が管理するのは当たり前であるが、所有者の負担ではできないことを、初期投資を投じて整備している点をしっかり PR すれば、納得してもらえるのでは。
藤の瀬会館 (藤枝市)	3 3	・ 譲与税と県民税の違いを、もう少し丁寧に分かりやすく説明する必要がある。 ・ 藤枝は特に竹林が多い。竹林対策もぜひお願いしたい。
藤枝総合庁舎 (藤枝市)	4 1	・ 荒廃森林は今後も継続的に増えていくことが予想される。ここでこの事業を終わらせるのはもったいないと感じる。 ・ 人材育成には時間がかかる。事業を早急に進めていくためには、人材育成にも注力する必要がある。 ・ 事業評価は高いと思うが、県民に対して PR が少ないのではないかな。もっとアウトリーチ PR が必要だと思う。
東益津地域交流センター (焼津市)	2 3	・ 所有者の負担がなく、森が守られ環境を維持できる素晴らしい事業だと思っている。その分、県民の負担はあるが、そのおかげで事業効果が生み出せていると思う。ぜひ制度を続けていただきたい。 ・ 焼津市は魚の町。山に関心のある方は少ないと思う。海をきれいに保つためには、山をきれいにする必要があるので、事業の必要性を焼津市民へ PR してほしい。
山村開発センター (川根本町)	2 1	・ 大変良い事業、継続してやっていく必要がある。 ・ 町内でも台風による林道災害が発生しており、一部でもいいので、林道の修繕等にも県民税や譲与税が充当できるように、柔軟に対応してほしい。 ・ 針葉樹林を針広混交林にしていくには長い年月が必要なので、次世代を担う子ども達にも事業の意義を伝えていかなければならない。
相良総合センターい〜ら (牧之原市)	2 3	・ 整備した森林は確実に下草が回復し、効果を実感している。昨今の異常気象による大雨や強風により、土砂流出や倒木が起きやすい状況であり、継続的な整備が必要であると思う。 ・ 教育関係部門との連携はできているのか。今後も事業が続くのであれば、なおさら、子ども達への理解醸成をお願いしたい。

掛川市役所 (掛川市)	4 7	・伐採だけでなく、境界の調査も行うため、境界がわからず困っている人たちの助けになり、伐採以外の波及効果もある。 ・まだまだ整備しきれていない森林があるので、事業は継続してほしい。 ・森林所有者だけでなく、県民全員が関わる話なので、学校教育の中で、森林の多面的機能について教育すべき。 ・シカの食害が深刻化している。様々な森林の環境変化に対応して欲しい。
森町町民生活センター (森町)	3 9	・相続した山林について、丸太の価格が下がって山の関心がなくなり、整備を行わなくなった。何十年か経った後、荒れた森林を見たときは愕然とし、責任を感じた。その後、森林組合に森の力再生事業で整備してもらった森林を見たときは感動すら覚えた。この感動を他の者にも共有したい。事業の継続を希望する。 ・税金を払っていても、どのように使われているのか、どこでやっているかもわからない。私の周りでは全然やっていない。譲与税でもいいからやって欲しい。 ・土砂災害等の災害は全県の問題なので、県は県で森の力再生事業に取り組んでいくことを明確にすることが大切だと思う。 ・市町は住民の声をちゃんとくみ上げ、森林環境譲与税を活用して、人里に近い山の整備をしてほしい。県と市が連携して森林の整備を進めて欲しい。
菊川市役所 (菊川市)	3 7	・地域住民は高齢化し、放置竹林が多く困っている。事業を継続して欲しい。 ・森林所有者の世代交代により、森林への関わりが薄くなる中、事業は整備者が事業内容の説明や境界の確定を行うため、自分の山を知るきっかけ、興味を持つきっかけになる。事業の継続を希望する。
磐田市豊岡東交流センター (磐田市)	3 2	・磐田市民としては敷地川の氾濫が心配。敷地川上流の整備状況を教えてほしい。 ・ハード面の整備だけでなく、環境教育などのソフト面への活用があってもよいのではないか。
浜松総合庁舎 (浜松市中央区)	3 7	・所有者と整備者が計画を立てて県に認めてもらい、その年に整備するというスピード感を持って実施できる仕組みは優れていると思うし、他になかなかない稀な事業。ぜひ残してほしい。 ・効果が市民には見えにくいような気がする。うまくいった事例ももちろん、うまくいかなかった事例も、もっと公開してもいい。

引佐多目的研修センター (浜松市浜名区)	1 6	・10年かけて荒廃森林を整備したにもかかわらず荒廃森林が増えているのは、所有者個人が整備できないまま放置されてしまっているのが原因だと考える。所有者負担がない森の力再生事業による森林整備は重要であり、今後とも続けて欲しい。 ・引佐町内では、電線、道路等にかかる可能性のあるところを帯状に伐採する「予防伐採」にも取り組んでいる。今後も台風等被害が増えることが見込まれる中で、電線・通信線等も被害を受ける可能性がある。県でも整備を推進して欲しい。
浜松市水窪支所 (浜松市天竜区)	3 2	・森の力再生事業により荒廃森林が解消されたのは明らか。佐久間ダム周辺で実施された事業は、流木の対策としても成果を上げている。是非、継続をお願いしたい。 ・森林環境税とのだぶり感の話は、県が住民に説明を続けていけば納得すると考えている。 ・伐倒木を横に置く森の力再生事業は、自然のダムの役割も発揮する。森の力再生事業の継続をお願いする。住民に公益的機能の効果が大きいことを訴えてほしい。
北遠総合庁舎 (浜松市天竜区)	3 8	・効果的な事業である。今後も続けていただきたい。 ・残念ながら県民への周知が十分でないと感じる。効果的に普及させるため、生活道路沿いを整備してほしい。 ・下層植生の有無が基準の一つとなっている。間伐手遅れ林で、シダ類など下層植生しかない山も当たり前のようにある。森の力再生事業を継続していただいた上で、対象現況に即して対象を再検討いただきたい。
湖西市健康福祉センター (湖西市)	1 3	・湖西市の現場も多く拝見し、国土を守り、美しい景観を保つ多面的機能を発揮させる、良い事業だと思う。 ・新たな荒廃森林が見つかったということは、森林整備が困難な箇所は今後も荒廃していく可能性が高いのではないかと。緊急性の高い森林だけでなく、荒廃予備軍である困難性の高い森林へも対応し、新たな荒廃森林を生まないようにすることも必要ではないか。
オンライン (6/28 昼の部)	3 3	・近年、台風や大雨などの災害が多発している中では、倒木も多く発生しているイメージがあるので、このような事業を通じて森林を整備していくことは大切なことだと思う。
オンライン (6/28 夜の部)	3 0	・最近の集中豪雨や台風によって山から木が流れ出て、下流でたまるなどして被害が起こる事例があり、対応が必要ではないか。 ・新たな荒廃の要因の1つであるシカの影響の問題は、森林の整備とシカの管理が別々に進められていることが問題と考える。森林整備と一体的に捕獲に取り組むことなどを今後期待したい。

静岡県農林環境専門職大学	8	・所有者や林業団体所有者や林業団体だけでは健全な維持管理が難しいため、これからも公的機関の支援が必要。 ・都市部で暮らしていると、森林の公益性を忘れ、税の負担を感じてしまうことがあるだろうが、自分は税により整備することに抵抗はない。 ・森林づくり県民税について知名度がなく、使途について理解せず納税している人が多いと思うため、大々的な説明会等が必要。
天竜高校	3 9	・森林整備に関して、所有者だけでなく、県が積極的に推進することはよいこと。 ・今回の説明を聞き、森林（もり）づくり県民税の使われ方がわかった。
常葉大学	5	・森の力の回復は、単に植生の割合の回復だけでなく、生物多様性の回復も評価すべき。 ・これから納税者となる小～高校生にも、税の使い道等をしっかりと PR することで、いずれ納税するときにきても、反感が生じなくなるのでは。
静岡県立大学	1 3	・熱海の件もあり、森林に対して、土砂災害防止機能は特に期待されていると感じる。そのあたりを広報とうまく絡めて、発信していくのが良いと思う。 ・若者が利用する SNS を活用したり、他産業と連携して発信するなどの工夫も PR には必要だと思う。 ・竹の整備で一番大変なのは、伐採した竹の処分だと思う。そこを県がサポートしたり、竹の利活用が進むような取組を行ってほしい。